

令和3年度 事業報告書

公益財団法人愛知教育文化振興会

1 事業の状況

令和3年度事業計画及び収支予算に従って、三河の教育文化振興に寄与するという目的達成に向け、活動を進めることができた。

三河全域の小・中学校や教育関係諸団体等に多大なご支援とご協力をいただいた。また、予算執行面では諸経費の一層の節減に努め、成果を上げることができた。

2 処務の概要

(1) 役員に関する事項

令和3年6月1日(火)に、令和3年度の登記がなされた。それに従って、下記の評議員、理事・監事が就任した。

<評議員>

廣中 達憲(評議員長) 野澤 博行 山口 真司 波多野慎次

加藤 応子 澤田 真湖 内田 幸

<理事>

柵木 智幸(理事長) 岡田 守(副理事長) 伊藤 雅朗(常務理事)

天野 広子(常務理事) 小林 嗣明 鈴木 則明 太田 衣里

<監事>

遠島 敏行 加藤 博之 杉浦 一郎

(2) 職員に関する事項

伊藤 雅朗(常務理事) 天野 広子(常務理事) 酒井 敬(総務部)
H29.6.1~ H29.6.1~ H30.6.1~

白井 博司(業務部) 水藤 彰啓(編集部) 谷中 智典(経理部)
H30.6.1~ R元.6.1~ R元.6.1~

稲垣 良治(編集部) 山本 満夫(総務部) 水鳥 勝久(ICT部)
R2.6.1~ R2.6.1~ R2.6.1~

名倉 嘉章(ICT部) 天野 明典(業務部) 浅井 英雄(経理部)
R3.4.1~ R3.6.1~ R3.6.1~

本多麻紀子(業務部) 牧 富代(経理部) 深津 理絵(業務部)
H6.4.1~ H11.10.18~ H28.4.1~

鈴木 千明(事務員)
H30.4.1~

(3) 刊行事業に関する業務

三河教育研究会の研究成果をもとに、三河全域の小中学校児童・生徒を対象に、42品目の刊行物を刊行し、確かな学力・豊かな心・健やかな体の向上に寄与してきた。

刊行事業として、(ア)編集に関する事項、(イ)刊行に関する事項、(ウ)普及に関する事項を行った。

ア 編集に関する事項

○ 編集委員長・関係部会長会

第1回 令和3年6月11日(金) (編集委員長のみ)

- ・令和4年度版刊行物の編集について
 - ・令和3年度版刊行物編集に関する反省事項と申し送り事項について
 - ・令和3年度版の刊行物モニターについて
 - ・令和3年度版刊行物編集委員会の実施状況について
- ※新型コロナ感染拡大のため第1回編集委員長会を中止し、要項を送付し共通理解を図る

第2回 令和4年2月8日（火）

- ・令和4年度版刊行物の採用状況について
 - ・令和4年度版刊行物編集委員会の実施状況について
 - ・令和4年度版刊行物編集に関する反省と次年度への申し送り事項について
 - ・令和5年度版刊行物の編集について
 - ・令和5年度版刊行物の編集委員会の構成について
 - ・令和5年度版刊行物編集委員長・副委員長・編集委員決定の手順について
- ※新型コロナ感染拡大のため第2回編集委員長会・関係部長会をWeb会議で実施する

○ 編集委員会

42種目の刊行物について、延べ148回の編集委員会を開催した。

○ 刊行物編集企画委員会・「教育と文化」編集企画委員会

令和3年11月17日（水）

- ・有識者、教育関係団体代表、PTA経験者、教員等11名で構成する委員会で、令和5年度版以降の刊行物の編集刊行及び令和4年度教育情報誌の発行について審議した。
- ・刊行物の編集や普及の方策について、意見をいただいた。

○ 刊行物正誤調査について

正誤調査委員を選出して、最終校正後の原稿について正誤調査を行い、誤りのない刊行物作成を目指した。

イ 刊行に関する事項

○ 刊行物の受注・配本について

三河全域の小中学校491校（小346・中143・特別支援2）から注文を受け、業者を通して配本した。追加注文等は本法人から宅配便等で配本した。

○ 令和4年度版刊行物に係る印刷・出版各社との契約について

9月初旬、契約に関する協議を行い、印刷・出版各社（12社）と契約した。

ウ 普及に関する事項

○ 刊行物採用説明会について

新型コロナ感染拡大により、春（5月）の学校事務担当者会は中止し、地区担当者が郡市正副代表校、郡市事務担当校へ出向き説明。それを各学校の事務担当者に連絡していただいた。秋（11月）は、各郡市の状況に合わせ、学校事務担当者会を実施した。

○ 刊行物モニターについて

本法人発行の刊行物の内容充実に向け、学校や郡市教科指導員等にモニターを依頼し、教育現場の声を収集するとともに、刊行物の編集に生かした。

(4) 教育情報誌の発行に関する業務

○ 教育情報誌「教育と文化」の発行について

年3回（7月・11月・3月）発行・配付し、三河全域の教職員及び公立図書館等への教育情報の提供に努めた。

(5) 教育研究助成に関する業務

助成に関する事業では、（ア）団体研究助成に関する事項、（イ）個人研究助成に関

する事項、（ウ）教育図書出版助成に関する事項、（エ）郡市教育・研究助成に関する事項、（オ）学校教育ボランティアグループ助成に関する事項を行い、地域の教育文化の振興に努めた。

ア 団体研究助成に関する事項

研究助成の申請があったものを厳正に審査し、下記の5団体に助成した。

三河小中学校長会 三河教育研究会 三河教頭会
生活・障害児教育研究協議会 愛知県へき地教育研究協議会

イ 個人研究助成に関する事項

三河全域の教職員を対象に、3年継続をめざした教育研究論文を募集し、有識者による審査を経て助成を実施した。令和3年度の助成は、第1年次200名（申請者240名）、第2年次50名、第3年次10名であった。

ウ 教育図書出版助成に関する事項

教職員の研究成果をまとめた図書出版に関し、申請のあったものを審査して、1点の業績刊行図書（グループ）に助成した。

エ 郡市教育・研究助成に関する事項

- 現職研修費について
各学校における現職研修や教育研究活動へ助成した。
- 研究協議会費について
郡市単位で開催する教育研究協議会等の研究・運営へ助成した。
- 教育奨励費について
郡市単位で行う児童・生徒、保護者等が参加する特色ある教育活動へ助成した。

オ 学校教育ボランティアグループ助成に関する事項

三河地域の小中学校等でボランティア活動をしている読書活動グループ39団体と読書活動以外のグループ20団体へ助成した。

（6）各種表彰及びコンクールに関する業務

表彰及びコンクールに関する事業では、（ア）優秀論文表彰に関する事項、（イ）かきぞめコンクールに関する事項、（ウ）絵画コンクールに関する事項を実施した。

ア 優秀論文表彰に関する事項

個人研究助成3年次の研究成果論文をもとに、厳正な審査を行い、最優秀1名、優秀2名を決定し、表彰した。

イ かきぞめコンクールに関する事項

かきぞめコンクールを実施したところ、2,677点の応募があった。最優秀賞・優秀賞・佳作・奨励賞を合わせて270名を表彰した。

ウ 絵画コンクールに関する事項

絵画コンクールを実施したところ、〈春夏〉〈秋冬〉合わせて1,897点の応募があった。最優秀賞・優秀賞・佳作・奨励賞を合わせて217名を表彰するとともに、3校に学校賞を贈呈した。

（7）体験活動に関する業務

- 自然体験活動「ネイチャーウォッチング」を年6回計画した。コロナ感染拡大防止のため5回中止となったが、25家族、73人の参加があり、児童の自然に対する興味、知識を深め、豊かな感性や情操を育んだ。

（8）その他 本法人の目的を達成するために必要な事業に関する業務

ア 刊行物の災害無償給付

被災し、刊行物を失った児童・生徒及び、「災害救助法」の適応を受ける災害で被災し転入学した児童・生徒に対して、刊行物の無償給付を実施する。

本年度1件（風水害）

(9) 役員会等に関する業務

公益財団法人愛知教育文化振興会の管理運営に関する会議

ア 運営に関する会議

○ 理事会

第1回 令和3年5月14日(金)

- ・令和2年度事業報告(案)について
- ・令和2年度収支計算書(案)について
- ・令和2年度決算報告(案)について * 監査報告について
- ・理事・監事・評議員の選任(案)について
- ・令和3年度評議員会の開催日程と内容(案)について

※新型コロナ感染拡大により第1回理事会を中止し、議案は書面決議にて対応
臨時理事会 令和3年5月31日(月)

- ・理事長・副理事長・常務理事の選任について
- ・令和3年度運営審議会の審議内容及び委員について

※新型コロナ感染拡大により臨時理事会を中止し、議案は書面決議にて対応

第2回 令和3年9月10日(金)

- ・令和4年度版刊行物の頒価について
- ・令和3年度第2回運営審議会について
- ・デジタル環境整備基金について 他

※新型コロナ感染拡大により第2回理事会を中止し、議案は書面決議にて対応

第3回 令和4年2月22日(火)

- ・災害等緊急支援助成(案)について
- ・令和3年度補正収支予算書(案)について
- ・令和4年度事業計画(案)について
- ・令和4年度収支予算書(案)について

※新型コロナ感染拡大により第3回理事会を中止し、議案は書面決議にて対応

○ 評議員会

定例評議員会 令和3年5月31日(金)

- ・理事・監事・評議員の選任について
- ・令和2年度決算報告の承認について
- * 監査報告について
- * 定期提出書類について

※新型コロナ感染拡大により評議員会を中止し、議案は書面決議にて対応
臨時評議員会 令和4年3月7日(月)

- ・災害等緊急支援助成について

※新型コロナ感染拡大により評議員会を中止し、議案は書面決議にて対応

イ 調整に関する会議

○ 文振郡市正副代表者会

第1回 令和3年4月16日(金)

- ・令和3年度年間行事計画について
- ・令和4年度版刊行物の編集について
- ・令和3年度版刊行物モニターについて
- ・令和3年度版刊行物I期の採用状況について
- ・令和3年度各種助成応募要項について
- ・令和3年度郡市教育・研究助成について

※新型コロナ感染拡大防止により、正代表者のみの参加で実施

- 第2回 令和3年10月 8日(金)
- ・令和4年度版刊行物の頒価について
 - ・令和4年度版刊行物の注文について
 - ・令和3年度各種助成結果について
 - ・令和4年度版刊行物都市別説明会について
- ※新型コロナ感染拡大防止により、各都市1名参加で実施
- 文振都市事務担当者会
- 第1回 令和3年4月23日(金)
- ・学校事務の取り扱いについて
 - ・第I期刊行物の返品回収について
 - ・第II期注文について
 - ・源泉所得税の徴収と納税について
- ※新型コロナ感染拡大防止により、各都市1名参加で実施
- 第2回 令和3年10月19日(火)
- ・令和4年度版刊行物の頒価について
 - ・令和4年度版刊行物の注文について
 - ・令和3年度都市教育・研究助成費と事務処理について
 - ・令和4年度版刊行物都市別説明会について
- ※新型コロナ感染拡大防止により、各都市1名参加で実施
- 校長会・三教研・文振連絡会議
- 第1回 令和3年6月29日(火)
- ・刊行物の充実と販売促進に向けた各組織の取り組み方針・内容
- 第2回 令和4年1月29日(金)
- ・刊行物の充実と販売促進に向けた各組織の取り組みの成果と課題
- ※新型コロナ感染拡大により、Web会議にて実施
- ウ 審議に関する会議
- 運営審議会
- 第1回 令和3年7月6日(火)
- ・令和2年度事業報告について
 - ・令和2年年度決算報告について
 - ・令和3年度事業計画について
 - ・令和3年度収支予算について
 - ・令和4年度版刊行物の編集について
 - ・令和3年度版刊行物採用状況について
 - ・現刊行物の見直しと新刊行物の発刊に向けて
- 第2回 令和4年2月15日(火)
- ・令和3年度事業概要について
 - ・令和3年度各種助成結果について
 - ・全三河児童・生徒数の推移について
 - ・令和4年度版刊行物の頒価について
 - ・令和4年度版刊行物第I期の採用状況について
 - ・令和3年度経理状況について
 - ・現刊行物の見直しと新刊行物の発刊に向けて
 - ・災害等緊急支援事業について
- ※新型コロナ感染拡大により第2回運営審議会を中止し、要項を送付し質疑・
 応答にて対応

(10) 契約に関する業務

ア 借用地について、本年度も継続して次の1人と賃貸借契約を締結した。

賃渡人 岡崎市筒針町上川田26-5 村瀬守彦

・賃貸借期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日

・使用目的 公益財団法人事業の事務所、その他附属施設および駐車場
(551.07㎡)

・賃貸料金 月額 140,000円

(11) その他の業務

ア 会館使用に関する事項

各種教育諸団体への会館使用については無料とし、「親しまれる会館」となるように努めている。ただし、今年度は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令中は会館使用を中止とした。

イ その他の事項

○ 評議員、理事、監事、理事長の登記を行った。(法務局)

○ 県教育委員会へ定期提出書類(令和2年度事業報告書・決算報告書)を提出するとともに、公開用として備え置いた。

○ 県教育委員会へ定期提出書類(令和4年度事業計画書、収支予算書)を提出するとともに、公開用として備え置いた。

○ 貸借対照表をホームページに電子広告するとともに、各種助成事業応募要項等もホームページに掲載した。

3 附属明細書

附属明細書に記載すべき事項は、特にない。